平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- Ⅲ スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- Ⅴ スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	[I • V]
2 実施対象者	
	第3学年 120名 (4) 学校における活動
3 展開の形式	
	① 教科名 (総合的な学習の時間・道徳・社会)
	③ その他 () () () () () () () () () (
	(2) 地域における活動
	① イベント名()
4 5	② その他 () ・オリンピック・パラリンピックに関する知識、選手の体験、エピソ
4 目標	- イワンピック・ハフワンピックに関する知識、選手の体験、エピケートなど、スポーツの価値を改めて知ることで、よりスポーツに親
(ねらい)	しむ意欲が高まるようにする。
	・アジアで初めて冬季オリンピック大会を開催した札幌市の歴史と伝
	統を踏まえた学習を通して、「ふるさと札幌」を愛する心の育成を
	図る。
5 取組内容	〇指導計画【6時間扱い】
	オリンピック・パラリンピックについて知っていることを交流
	・オリンピックミュージアムで学ぶ内容についての事前学習
	・オリンピアン・パラリンピアンの講演・施設内見学・展望台での札
	幌市の様子見学 たいなについて発見にまためて活動
	施設を見学し、調べた内容について新聞にまとめる活動
	○取組の様子
	・オリンピックミュージアムに
	て、ボブスレー選手「桧野 真
	奈美氏」の講話を聞いた。講話
	を通して、スポーツのよさやつ
	らくてもあきらめないことの
	大切さについて考えることが
	できた。

- ・オリンピックミュージアムの体験施設での体験活動を通して、 冬のスポーツに対して興味を もち、進んで活動に取り組むこ とができた。
- ・オリンピックミュージアムの展示の見学を通して、過去に札幌でオリンピックが開かれたことや、その際には世界中のたくさんの人から札幌という街が注目されたこと、オリンピックを通して街が発展したことなどを学んだ。
- ・講話、体験、見学を通して学んだことを新聞にまとめ、交流する活動を通して、学習の記録化し、友達とお互いの気づきを共有することができた。







6 主な成果

- ・オリンピックミュージアムで、オリンピックの歴史や昔使われていた を名のスポーツの道具を知ることができた。また、オリンピックに 出場したアスリートの話から、「あきらめない」気持ちの大切さを 感じることができた。
- オリンピックミュージアムで体験したスポーツに興味をもち、冬の スポーツへの関心や意欲を高めることができた。

7 実践において工夫した点

• 120 名がしっかりと学ぶことができるように、ジャンプ台見学と ミュージアム見学の二つのグループに分かれて見学を行った。昼食 を挟んで、スムーズに体験を行えるようにした。

8 主な課題等

- ・施設の見学をするだけの学習に終わることが無いように、事前に目的をしっかりともたせて、調べ学習を行った。学習の充実に伴って児童の荷物が多くなり、体験的な活動に関してスムーズに行えない場面があった。置く場所や置かせ方などに工夫が必要であった。
- ・活動時間の制限があるため、在籍人数が多い本校の3年児童全員に 十分に体験をさせる時間の確保ができなかった。

9 今後の取組 について

・今後は、他の学年でもオリンピック・パラリンピックや、スポーツ について学習する場を設け、意識を高めるような活動を進めること が子どもにとって有効である。